

# 『南北戦争と戦後の発展』 ①

## ○使用したアプリ

ジャムボード  
Jamboard



## ○使用したアプリの概要

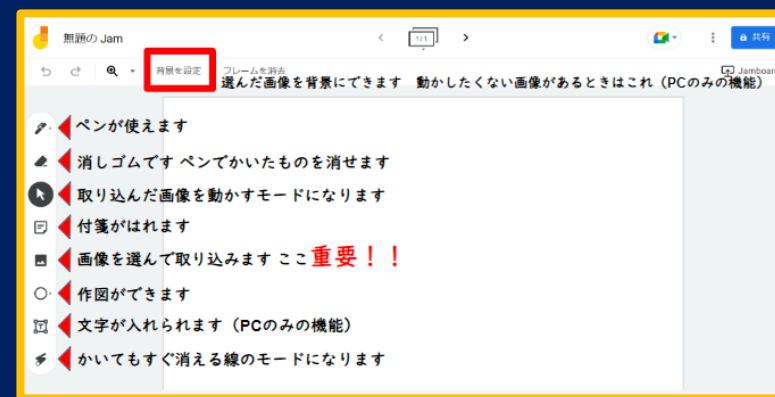
- Google driveを活用してクラウド上でホワイトボードを共有、編集できるアプリ

## ○このアプリを使った理由

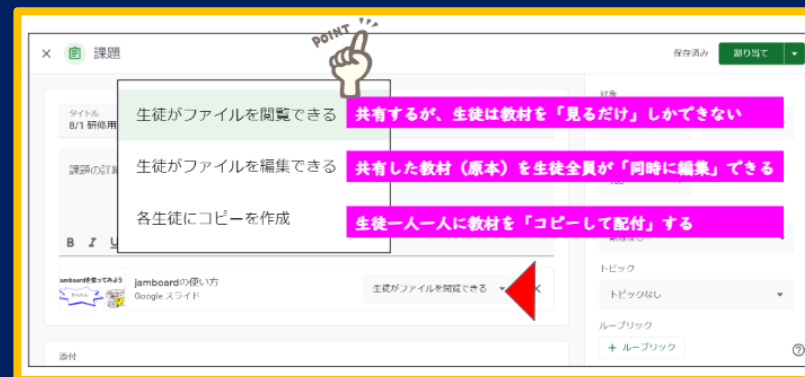
- 手で筆記用具を持って紙に文字を書いたり、付箋を貼ったりするような動作が苦手でも簡単に操作して活動に取り組めるため。

## ○アプリの使い方

- ① 授業のねらいに沿って、どのような教材が必要か検討する。
- ② 必要な画像等を準備し、アプリに取り込む。動かしたくないものは「背景を設定」から画像を選択。動かしたいものは「画像を追加」から選択。



- ② Classroomで教材を生徒と共有する。教材によって、教育方法を選択する。



# 『南北戦争と戦後の発展』 ②

## (指導の形態)

- 世界史A

## (目標)

- 「Y字チャート」を活用して、アメリカ南北戦争について多面的・多角的に考察する。

## (取組の様子)

- 授業の内容を聞いた直後に、Jamboardでその内容をアウトプットする活動を行った。文字を書く手間が省けるため、即座に活動に移ることができた。
- 「Y字チャート」という思考ツールを用いたことで、アメリカ南北戦争が始まった経緯を生徒が整理してまとめることができた。
- 生徒がそれぞれ付箋を色分けすることで、お互いの考えをリアルタイムで共有することができた。

- 「Y字チャート」は動かないように背景に設定。生徒は付箋を貼る。



※2つのクラスで実施。その際、クラスを越えて教材を共有・編集し、協働的に活動することも可能。

- その他、Jamboardでの教材の作成例

This block shows several examples of Jamboards used in a classroom:

- 授業の導入で...** (For lesson introduction): A board titled '知っているヨーロッパの国をあげてみよう！' (Let's name the European countries we know!) with sticky notes for Italy, England, Spain, etc.
- 協働的に学習内容を整理する** (Collaborative learning organization): A board titled '教科書を見ながらみんなでお表をまとめてみよう！' (Let's make a table together using the textbook!) with a table for '時代' (Era) and '出来事' (Events).
- 多面的・多角的に考察する** (Multifaceted/multidimensional examination): Boards titled '考えてみよう！' (Let's think!) with sticky notes for '貿易' (Trade), '戦争' (War), etc., and another titled 'ピラミッドが作られた理由' (Reasons for the construction of the pyramids) with sticky notes for '王様の墓' (King's tomb), '労働' (Labor), etc.